

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
社会学Ⅱ	共通	1年生・後期	2単位	選択	平田 毅
履修の前提条件	自己と、自己をとりまく他者(=社会)について、洞察しようとする姿勢をもっていること。「社会学Ⅰ」を履修していることが望ましい。				
授業概要 (Course Outline)					
社会学Ⅰで学習した「社会学の基礎概念」を踏まえて、現代社会の諸事象について社会学的に考察していく。その際、最も大切なことは、自らの生活感覚(リアル)と重ね合わせて理解し検証することである。つまり自ら論理的に「考える」ことである。 そこでこの授業では、現代社会について、都市化、消費文化、情報化の3つの領域をとりあげ、それぞれの観点を通して現代社会のあり方を考察していく。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	○			
	人類の文化・社会に関する知識の理解 Human Culture / Society	○			
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○			
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy	○			
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	○			
	問題解決力 Problem Solving	○			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management	○			
	チームワーク Teamwork	○			
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense	○			
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	○			
	生涯学習力 Lifelong Learning				
到達目標 (Objectives)					
・現代社会の諸事象の文化的特質と構造を理解し、それを自らのリアリティと重ねて検証する。 ・自らの「考え」を論理的の根拠づけて展開できる力を養う。(レポート作成)					
事前学習の内容	毎授業時に課せられるミニ課題に取り組み、次回授業時の準備をする。				
事後学習の内容	各自の授業ノートのまとめと整理を行い、今日の学習の振り返りシートを記入する。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
基本的には対話型の授業スタイルで学習を進めていきます。授業時間中の私の問いかけには主体的に responding してください。みなさんから質問や疑問点がある場合も適宜発話してください。相互のコミュニケーションを通して学習を深められることを期待しています。 必要に応じて、全体もしくはグループでの討論・討議を通じた授業も実施します。自ら考え、積極的に発言することで、みんなで学ぶ場を豊かにしていきましょう。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
授業終了後に声を掛けるか、もしくは研究室を訪ねてください。 オフィスアワーの時間は、掲示案内を参照してください。 メールアドレス: t-hirata@kiis.ac.jp					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
毎授業時間に「社会学『学び』のまとめシート」を記入し、今日の学びを振り返ってもらいます。しっかり、文章で記入するようにしてください。 また、この授業では、学びの足跡を定着させるために各人の「ノート」の作成を重視しています。それぞれが自分の「社会学のノートをつくる」ことを念頭に置いて取り組んでください。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業ガイダンス 「現代社会」って、どんな社会？		
第2回	都市化と消費社会がもたらしたものの(1) 都市とは何か		
第3回	都市化と消費社会がもたらしたものの(2) 都市化とアーバンイズム		
第4回	都市化と消費社会がもたらしたものの(3) 近代化と都市文化の形成		
第5回	都市化と消費社会がもたらしたものの(4) 都市の成長過程と消費文化の生成		
第6回	都市化と消費社会がもたらしたものの(5) 消費社会の特質		
第7回	都市化と消費社会がもたらしたものの(6) 記号の消費と現代人のアイデンティティの行方		
第8回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(1) 情報化・情報社会とは何か		
第9回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(2) 情報社会の諸相と特質		
第10回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(3) コンピュータに媒介されたコミュニケーションの日常化		
第11回	情報化する社会とコミュニケーションの変容(4) 情報社会の光と影、そしてその先…		
第12回	現代社会の文化的特質(1) 記号化する社会 現代社会のファンタジー		
第13回	現代社会の文化的特質(2) 合理化する社会 マクドナルド化する社会		
第14回	現代社会の文化的特質(2) グローバル化する社会 グローバル／ローカルのせめぎ合い		
第15回	定期試験		
第16回	「現代社会を考える」とは？ 「いま・ここ」から考える。(「学び」の振り返りと討議)		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>・プレレポート ・ミニ課題 ・各自作成のノート            以上の取り組みと期末試験の成績によって、総合的に評価する。</p>			